

第 37 回理事会 議事録

1 開催場所

札幌市中央区北 5 条西 6 丁目 札幌センタービル 5 階 C 2 会議室

2 開催日時

2022 年 1 月 25 日 (火) 13 時 30 分から 14 時 50 分まで

3 理事総数 10 名

4 出欠等の状況

理事(出席)	9 名	濱田 康行、鉢呂 建市、青木 次郎、佐藤 季規 瀬尾 英生、田村 修二、田村 亨、林 美香子 山崎 弘善
理事(欠席)	1 名	谷 一之
監事(出席)	2 名	末永 仁宏、山本 眞樹夫
議事録作成者		鉢呂 建市(専務理事)

5 定足数の報告

定刻に至り、濱田理事長が挨拶の後、理事 10 名のうち過半数が出席しているので、定款第 41 条の規定により本理事会が成立している旨を告げた。

6 議案の審議状況及び議決の結果等

次に、濱田理事長から定款 44 条第 2 項の規定により、議事録署名人を理事長、末永監事、山本監事とする旨を告げて議事に入った。

報告事項 1 「2021 年度事業実施状況 (中間報告) について」及び報告事項 2 「2021 年度決算見込みについて」の件

鉢呂専務理事から資料 1 に基づき 2021 年度の事業実施状況について説明し、引き続いて谷部長から資料 2 に基づき 2021 年度の決算見込みについて説明があった。

本件に関して瀬尾理事から、JICA 事業に関して、事業がどのように変わってきているのかとの質問があり、鉢呂専務理事から、コロナの影響により WEB 中心の研修となっていることから、地域の方々との関りが変わってきており、今後は地域づくりに資する研修事業を行っていく旨を説明した。

次に、田村修二理事から、JICA 事業に関して、現場を重視した研修事業を行うことについて提言あった。また、全体予算の効果的な活用について質問があり、鉢呂専務理事から地域づくり活動発掘・支援事業をさらに充実していく旨を説明した。

次に、林理事から、JICA 事業に関して、地域の方たちと結びつきや北海道と世界の交流が深まるような形で慎重に検討するよう意見があり、鉢呂専務理事から慎重にスクラップ & ビルドに取り組む旨を説明した。また、地域づくり活動発掘・支援事業に関して、事業内容や成果の情報をこれまで以上に発信していくために、予算やマンパワーを使うべきと

の意見があり、鉢呂専務理事からこれまでの取組を事例集として冊子に取りまとめる予定であり、市町村などを通じて広く発信していく旨を説明した。

第1号議案「就業規程の改正について」の件
谷部長から資料3に基づき就業規程の改正について説明をした。
その後、審議の結果、原案のとおり出席理事全員一致で決定した。

7 その他

会議次第4「その他」に入り、議長から役員及び事務局に発言等を求め、特に発言がなく、続いて理事長から事務所の移転について、移転理由、所要経費、移転先、今後の予定などについて説明した。

また、谷部長から次回理事会の開催予定などについて説明があり、その後特に発言はなく、議長が「以上をもって本日の議事は、全て終了した」と宣言し、14時50分に理事会を閉会し、解散した。

上記の議決等を明確にするため、議事録署名人は、本議事録に署名、押印する。

2022年2月14日

公益財団法人 はまなす財団 第37回理事会

理 事 長 濱 田 康 行 ⑩

監 事 末 永 仁 宏 ⑩

監 事 山 本 眞 樹 夫 ⑩